

脈波指標付血圧計「PASESA」

誰でも簡単に血圧と脈波測定



製品概要

オシロメトリック法の血圧計を応用して、血圧と二つの脈波指標 (AVI, API) を、同時に測定します。

信頼性の高い脈波指標です。

片腕で、ワンタッチ操作2分間で測定
～ 詳細データ印刷まで完了します。

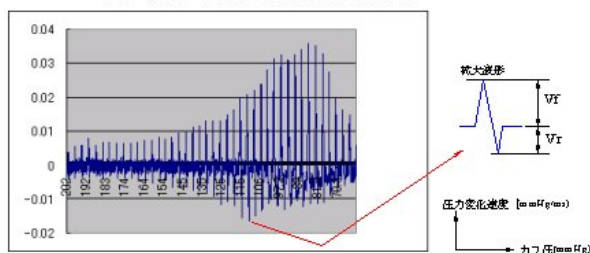
タッチパネル付き大型ディスプレイで、見やすく豊富なグラフィック表示です。

< 指標の測定原理 >

AVI (Arterial pulse Velocity Index)

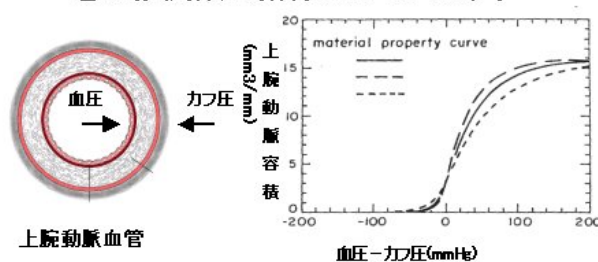
原理: カフ圧脈波から得られる、上腕動脈の圧脈波データを時間で微分すると、下図のような速度脈波の時系列変化が得られます。上腕動脈拡張期(心収縮期)の速度変化 V_f と、上腕動脈弛緩期(心拡張期)の速度変化 V_r の比を指標化しています。

カフ減圧時の速度脈波時系列変化



API (Arterial Pulse amplitude Index)

原理: 柔らかい血管では、カフの減圧に伴って動脈容積が急激に変化するのに対して、硬い血管では動脈容積が緩やかに変化します。この曲線の傾き度合いを指標化します。カフ圧の圧カデータから、カフ圧-動脈容積の関係を求め、逆正接関数で指標化しています。



カフ圧の変化に伴う上腕動脈容積の変化

Prevent ArterioSclerosis and Enjoy Successful Aging

動脈硬化を予防し、「健やかに老いる」を楽しむ (PASESA)

お問い合わせ 〒194-0215 町田市小山ヶ丘2-2-5 (株) 志成データム
URL <http://www.shisei-d.co.jp> E-mail info@shisei-d.co.jp
TEL 042-798-4711 FAX 042-798-4714

本製品は、平成19年度 経済産業省 産業技術 研究開発事業 (中小企業支援型) による研究成果です。